

常用発電
(発電
電圧
200V、
出力
3000
kV
A)
約1億4
00万
円

など
市弥栄

画整理

・6ha、
0.6m、
0.83万

6m

083万

農村地域
田地区橋

(3)

江津市桜江

事延長L
支承取

タンパー

月24日
934万

近未来コンクリート研究会 脱炭素、施工性改善など議論 今年度第3回協議会開く

近未来コンクリート研究会(十河茂幸代表)による今年度第3回目のテーマ別協議会が13日、広島市中区で開催され、「脱炭素コンクリート技術研究(S)協議会」「コンクリートの施工性改善技術研究(CII)協議会」「RC構造物の延命化技術研究(M)協議会」にWEB参加を含めて延べ約70人が参加。活発な議論が展開された。

この日の議論のうち、広島工業大学建築工学科の坂本英輔教授が主査を

ど必要書類を3月7日まで受け付け、17日に開札を行う。

務める「S協議会」では、議事録をもとに前回までの検討内容を確認したほか、広島地区生コンクリート協同組合共同試験場の城國省三氏が「カーボンニュートラルの最近の話題」をテーマに国の取り組みや一定の削減効果が認められる現時点の状況を紹介します。今後は脱炭素の数値的な評価が必要となることや、カーボンレジット等によってより活

用が進むとの意見も出され、フローリックの楢垣誠氏は、「低炭素社会実現に向けたCO₂削減・固定化に関するフローリックの取組み」として、革新的カーボンネガティブコンクリートの材料・施工技術及び品質評価技術の開発に関する研究活動を報告した。

また、広島工業大学環境土木工学科の竹田宣典氏による「CII協議会」

では、コンクリート打継目の処理が議題として取り上げられ、レイタンス処理に関する全く異なるアプローチ方法について議論。参加者からは今後取り組むべきテーマとして、「生コンの後添加型流動化剤増粘タイプ」の使用に関する実験の希望なども出された。

このほか、コンクリートメンテナンス協会の江良和徳氏を中心に進めている「M協議会」では、広島県土木協会との協働で実施している「小規模RC橋梁の簡易点検要領に準じた簡易点検と簡易補修」について詳しい解説があり、要領に沿って実施した補修例などが報告。対策として使用した亜硝酸リチウムがわずか3年で内部に浸透していることが確認されるなど、一定の評価ができる結果も示された。

なお、同会は6月5日に総会を開催し、その中で年間の各協議会による総括なども行われる予定だ。



置対象工事となつていく。

参加資格は土木一式A等級。邑智郡内に主たる

また、広島工業大学環境土木工学科の竹田宣典氏による「CII協議会」

また、広島工業大学環

境土木工学科の竹田宣典

氏による「CII協議会」

による「M協議会」では、

広島県土木協会との協働

で実施している「小規模

RC橋梁の簡易点検要領

に準じた簡易点検と簡易

補修」について詳しい解

説があり、要領に沿って

実施した補修例などが報

告。対策として使用した

亜硝酸リチウムがわずか

3年で内部に浸透してい

ることが確認されるな

ど、一定の評価ができる

結果も示された。

なお、同会は6月5日

に総会を開催し、その中

で年間の各協議会による

総括なども行われる予定

だ。